

## 平成21年度事業報告書

### 1 鑑賞研究事業

#### (1) 本部主催鑑賞研究会

平成21年度「刀剣鑑賞会」は8月・11月・12月を除き毎月第2土曜日に実施。毎回、約60名が参加。

#### (2) 支部主催鑑賞会（支部鑑賞会等への講師派遣・鑑定刀貸与）

各支部の活動に協力し、その要請に応じて講師の派遣と、参考刀・鑑定刀の貸与を行なった。平成21年度講師派遣と鑑定刀の貸与延べ130回、鑑定刀貸与のみ延べ18回。講師派遣に伴う旅費の本部負担は1支部あたり上限3回とした。

なお、講師及び支部が携行する貸出しの刀剣類について、それぞれの評価のうえ損害保険を契約して万一の事故等に対応することとし、その際の保険料の半額は支部負担とした。

### 2 講習会及び研修会事業

#### (1) 美術刀剣製作技術保存研修会

##### ア 刀職技能訓練講習会

第23回講習会は会場を岡山県瀬戸内市の「備前長船刀剣博物館」で行い、刀身仕立の部・柄下地の部・刀装金具の部の3部門を同時開催として、6月16日～同月18日の3日間で実施した。

受講者は柄下地の部4名、刀身仕立の部5名、刀装金具の部9名。講師は、柄下地の部は柄巻師の三谷修史、刀身仕立の部は刀匠の上林勇二、刀装金具の部は白銀師の羽川安穂の各講師が担当した。

##### イ 刀剣研磨・外装技術研修会及び鍛冶研ぎ研修会

第42回刀剣研磨・外装技術研修会及び第36回鍛冶研ぎ研修会を当協会4階講堂において実施した。研磨の部と鍛冶研ぎの部は8月20日～同月23日、外装の部（鞘の部、柄の部、鍔の部）は8月27日～同月30日の各4日間開催。特別研修生6名、研修生16名、聴講生43名、計65名の参加があった。

講師は研磨の部は研師の杉原弘、柳川清次、斎藤司、鍛冶研ぎの部が刀匠の吉原義一、鞘の部が鞘師の前田幸作、柄の部が三谷修史、鍔の部が鍔師の羽川安穂の各講師が担当した。

#### ウ 作刀技術実地研修会

島根県仁多郡奥出雲町の「日刀保たたら鍛錬道場」において、第27回作刀技術実地研修会を9月29日～10月2日の4日間実施した。特別研修生1名、研修生5名、聴講生7名の参加があった。

講師は刀匠の上林勇二、宮入法廣、吉原義一の各講師が担当した。

### 3 審査公開事業

#### (1) 刀剣・刀装・刀装具の審査

区 分		受 付 点 数	合 格 点 数
保 存	刀 剣	4, 6 7 9	2, 8 7 9
	刀装・刀装具	3, 6 0 6	2, 7 3 8
特別保存	刀 剣	1, 0 9 1	5 9 1
	刀装・刀装具	3 9 0	2 8 2

区 分		受 付 点 数	指 定 点 数
重 要	刀 剣	7 0 0	1 0 7
	刀装・刀装具	3 0 9	5 0
特別重要	刀 剣	2 8 6	3 3
	刀装・刀装具	4 2	6

#### (2) 新作名刀展

平成21年新作名刀展を開催した。作刀の部53点、彫金の部31点、刀身彫の部4点の出品。審査の結果、特賞5点、優秀賞9点、努力賞14点、入選48点があり、平成21年6月9日受賞作品の表彰を行なった。入選作品以上について平成21年6月9日～同月21日、刀剣博物館で一般公開し、入場料を無料とした。

また、同展は、山形県鶴岡市の致道博物館においても、7月1日～同月20日の間、開催された。

### (3) 刀剣研磨・外装技術発表会

第62回刀剣研磨・外装技術発表会を実施した。出品点数107点。審査の結果、特賞4点（研磨3、白銀1）、優秀賞11点（研磨3、刀装2、白鞘2、柄前2、白銀2）、努力賞16点（研磨5、白鞘4、刀装2、柄前3、白銀2）、合計31点入賞。授賞式は12月4日に当協会講堂において行なわれた。また、入賞作品については、刀剣博物館において12月8日～同月20日まで公開・展示し、入場料を無料とした。

### 4 伝位に関する事業

平成21年度の伝位審議会を開催し、申請14名について審議の結果、中伝位待遇7名、中伝位3名、奥伝位待遇1名、計11名が授与された。

### 5 刀剣博物館事業

#### (1) 刀剣博物館入場者

入場者は、一般10,042名、会員1,145名、学生1,178名、招待者576名、中学生以下942名、団体205名、計14,088名。

#### (2) 展覧会実施状況

##### ア 刀剣博物館（協会本部主催）

展覧会名称	期間
古刀新刀名作展	平成21年3月24日～6月7日
平成21年新作名刀展	平成21年6月9日～6月21日
古刀新刀名作展	平成21年6月23日～11月15日
第55回重要刀剣等新指定展	平成21年11月17日～12月6日
第62回刀剣研磨・外装技術発表会 入賞作品展	平成21年12月8日～12月20日
新春名刀展	平成22年1月5日～3月28日
鈴木嘉定コレクション寄贈品展	平成22年3月30日～5月9日

イ 他の博物館等（協会：後援等）

展覧会名称	期 間	主 催（後 援 等）	会 場
平成21年新作名刀展 ～現代の刀工と刀職～	平成21年7月1日 ～ 7月20日	致道博物館 当協会本部	致道博物館
大名家秘蔵の名刀展 ～源平の武将から 幕末の志士たち までの愛刀～	平成21年7月31日 ～ 9月23日	富山県水墨美術館 当協会富山県支部 富山新聞社 北國新聞社 北日本放送 (後援：当協会本部)	富山県 水墨美術館
葵と菊 ～越前の名刀工・ 康継と国清～ 展	平成21年10月16日 ～11月23日	福井市立郷土歴史博物館 (協力：当協会福井支部) (後援：当協会本部、福井 県教育委員会 他)	福井市立郷土 歴史博物館
一宮長常 ～敦賀が誇る 金の匠～ 展	平成21年10月16日 ～11月29日	敦賀市立博物館 (協力：当協会本部、 当協会若狭支部)	敦賀市立 博物館
現代刀の100年 一復興と継承一 展	平成22年1月1日 ～2月28日	神宮徴古館農業館 (後援：文化庁、三重県、 当協会特定都府県支部他)	神宮徴古館 農業館

6 会誌『刀剣美術』の発行事業

会誌『刀剣美術』を月刊で平成21年度は627号から638号まで発行し、会員に配布した。編集スタッフは協会職員のほかに専門分野に通じた協会役員を交え、毎月定期的に編集会議を実施して誌面の充実に努めた。

7 資料の整備及び活用事業

刀剣、刀装具等に関する文献のほか参考資料の収集につとめ、研究者の利便を図った。資料室は、会員の資料のコピーサービス（有料）にも応じた。

8 寄託事業

刀剣、刀装、刀装具及び甲冑、武具、文献等の寄託に応じ、その管理、保存を行なっているが、平成21年度の新規寄託申込みはなかった。

9 たたら事業

たたら操業を3代実施（平成22年1月17日から同年2月6日）し、伝統技術の保存に努めた。なお、製造された玉鋼については、刀匠にお知らせの文書を配布し、購入のための便宜を計った。

また、村下養成員11名を対象に、講習会を8回実施した。

## 10 修理事業

会員の要望により研磨、白鞘等の新調・補修など、保存上必要な事項について適切な指導を行った。

## 11 伝統技術保存等に関する事業

無形文化財としての日本刀の鍛造技術・研磨技術・刀装製作技術等の保存向上に資するとともに、玉鋼の確保を図るための窓口として、財団法人日本美術刀剣保存協会に設置された伝統技術保存部会において、各種研修会・発表会等の充実・強化のための支援を行った。

## 12 会員及び支部の状況

平成21年度末現在の会員数、普通会員5,591名（うち外国会員275名）、学生会員25名、終身会員77名（うち海外会員9名）、維持会員14名、優遇会員25名、計5,732名。

支部は、現在76支部（うち海外2支部）である。

## 13 委託事業（伊勢遷宮）の状況

第62回神宮式年遷宮（平成25年秋）に関する直刀、鉾、拵の制作協力は、平成17年度から実施しており、直刀については60口を平成18年度に、鉾身については55振を平成21年度にそれぞれ納入した。平成22年度は拵の制作に引き続き協力する。

以上